

進路だより Jr.

令和元年6月14日

茨城県立並木中等教育学校
学習進路部

スキマ時間を制する者は…

前期課程において、よく耳にする言葉…「スキマ時間」。今回は、スキマ時間について考えていきたいと思います。

スキマ時間って…多分、5～10分くらいのちょっとした時間のことかと思います。10分を3セットつくただけで、30分の学習時間が確保できます。1日に30分くらいはスキマ時間を見つけられると思います。、そのスキマ時間を活用できていけば、並木中等のスタンダードの「平日2時間 休日4時間」が「平日1時間半、休日3時間半」になります。

1日30分の積み重ねが…

1日30分をどのように使うか…。学習ではないことで考えてみます。例えば、毎日30分「だけ」スマホを触るとします。そうすると…

1日30分×7日＝3時間半(1週間)

3.5時間×52週＝182時間(1年間)

つまり、1年間で7.5日、スマホに捧げていることとなります。ただし、24時間は起きていません。起きている活動時間を17時間とすると…

$182 \div 17 = 10.7 \dots$

1日30分が1年の中で10日分の時間になります。それを何に使うかがスキマ時間の活用かと思えます。もちろん、何に使うかは、個人の自由です。たかが30分。されど30分。

いつがスキマ時間？

忙しい並木中等生のスキマ時間捻出術を紹介します。

- ① 始業前
- ② 移動教室のない休み時間
- ③ 昼休み
- ④ 家に帰ってからすぐの10分間
- ⑤ 朝起きてからの10分間
- ⑥ 意外と多い金曜日の夜
- ⑦ 休日はスキマ時間の宝庫！



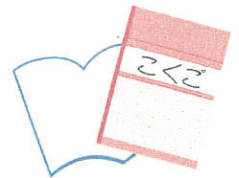
スキマ時間を見つけるために…

フォーサイトをきちんと書きましょう。私(飯倉)も手帳をつけています。何をしたかよく思い出せない時間が「スキマ時間」に変化できる時間です。フォーサイトは、自分の「ムダ」な時間を発見するメリットもあります。スキマ時間を見つけてみませんか。

国語の勉強法??

よく話題になる内容…。「国語の勉強の仕方」について、並木中等5年目の佐藤麻美先生にインタビューしました。

— よろしくお願ひします。本題に入る前に、なぜ国語の先生になったのですか？



佐藤—「先生」になろうと思ったときに、教科を考えるわけなのですが、他の教科は「何を学ぶのか」が明確だと思ったのですが、国語は…。「国語という教科で何を学ぶのか」を考え、生徒に教えたくて国語の先生を目指すことにしました。

— 国語の勉強法について教えてください。

佐藤— 読解に関しては、答えを選んだり作ったりするときに、「なぜそうなるのか」を説明できるように「根拠」を考えながら読んでいくと力がついていくと思います。文法・古典は「基本」を大事にしましょう。漢字は「見るだけで覚えられる人」「100回書かないと覚ええない人」「10回で覚える人」さまざまです。自分にあったやり方を見つけましょう。漢字を覚えるときには、意味もいっしょに覚えるとさらによいです。

— テスト前はどのようなことをすればいいですか。

佐藤— 古典や文法、漢字については、授業の内容を復習しておきましょう。読解問題に関しては授業中に学習した「読み方」があるので、その「読み方」を確認しておくとういす。

— 国語が苦手だという人の共通点がありますか。

佐藤— ひとつの問いに対して「一問一答」のような答え方をしてしまう人は国語が苦手な傾向があると思います。ひとつの問いに対して、論理的に考え、答える姿勢が必要になります。

— 読書と国語の学習の関係はありますか。

佐藤— 「関係がない」とは言えないと思いますが…たくさん本を読むことは、語彙力だったり知識の面で有効ではあります。ただし、「読書」は「主観的」な読み方で楽しむものなので「読書が好き」＝「読解ができる」とはならないのが現実です。

— 並木中等の前期生にひとことお願いします。

佐藤— 人間は言葉をつかって考え、言葉をつかってコミュニケーションをします。「言葉」は面白いです。言葉の世界を楽しんでほしいと思っています。